

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2003-332498 (P2003-332498A)

【公開日】平成 15 年 11 月 21 日 (2003.11.21)

【出願番号】特願 2003-127020 (P2003-127020)

【国際特許分類】

H 0 1 L 23/28 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 23/28 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 中央フレームと、前記中央フレームからの少なくとも一つのコンポーネント受容突出部と、前記コンポーネント受容突出部に設置されるコンポーネント上で働くように適合配置され前記コンポーネント受容突出部と結合する付勢部材と、前記付勢部材の付勢作用により前記コンポーネント受容突出部上の前記コンポーネントの動きを抑制するように前記付勢部材と結合する固定手段とを、具備するリードフレーム。

【請求項 2】 前記付勢部材は横方向の隆起部を有するリーフスプリングである、請求項 1 に記載のリードフレーム。

【請求項 3】 前記コンポーネント受容突出部はベースを含み、前記付勢部材は前記ベースの一部分の上を横たわる、請求項 1 に記載のリードフレーム。

【請求項 4】 前記付勢部材および前記コンポーネント受容突出部は一体構造であり、前記中央フレームに近い近接端部と、前記中央フレームから離れている遠位端部とを有し、前記コンポーネント受容突出部の前記近接端部は前記中央フレームに結合され、前記付勢部材の前記近接端部は前記中央フレームから分離されている、請求項 3 に記載のリードフレーム。

【請求項 5】 前記付勢部材および前記コンポーネント受容突出部の遠位端部同士は結合され、前記付勢部材の前記近接端部は前記コンポーネント受容突出部の下側の横たわる部分から分離されている、請求項 4 に記載のリードフレーム。

【請求項 6】 前記付勢部材の前記近接端部は、前記コンポーネント受容突出部の下側の横たわる部分を越えて横方向に延在する隆起部を有する、請求項 5 に記載のリードフレーム。

【請求項 7】 前記コンポーネント受容突出部が複数含まれる、請求項 1 に記載のリードフレーム。

【請求項 8】 各前記コンポーネント受容突出部は、前記コンポーネント受容突出部に設置されるコンポーネント上で働くように適合配置され前記コンポーネント受容突出部に結合された付勢部材を含み、前記コンポーネント受容突出部が電気端子である、請求項 7 に記載のリードフレーム。

【請求項 9】 前記コンポーネント受容突出部はベースを含み、前記ベースと前記付勢部材とが連続しており、前記付勢部材は前記ベースの上方へと折り曲げられている、請求項 1 に記載のリードフレーム。

【請求項 10】 前記中央フレームを少なくとも部分的に取り囲む外側フレームと、

前記中央フレームを堅くするために、前記外側フレームと前記中央フレームとの間において少なくとも一つのブリッジを含む、請求項 1 に記載のリードフレーム。